

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

平成23年12月1日

132号

編集・発行：愛知県農業会議

平成23年度農業者年金加入推進特別研修会を開催しました

11月8日から9日に西尾市幡豆町の「グリーンホテル三ヶ根」において、独立行政法人農業者年金基金と農業会議の共催により、県内の加入推進部長、女性農業委員及び担当職員等約65名の出席で農業者年金加入推進特別研修会を開催しました。

1日目は、独立行政法人農業者年金基金勝又理事より「農業者年金制度の概要と加入推進の取り組みについて」説明があり、引き続き愛知県農業会議から「愛知県の取り組み方針について」説明を行い、質疑応答後終了しました。

2日目は、木内久見(元)静岡県伊豆の国市農業委員会会長による農業者年金加入推進の事例発表が行われ、氏から農家への戸別訪問の重要性が報告されました。

その後、「農業者の老後の安定を図るため、農業者年金の加入推進をいかに進めるか」をテーマに5グループによるグループディスカッションを行いました。ディスカッション終了後、各グループによる報告を行い、今後の加入推進に向けた活動の確認がされました。

都道府県農業会議会長会議が開催されました

11月7日に東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において、新役員選出後初めての都道府県農業会議会長会議が開催されました。

二田全国農業会議所会長は、T P P交渉参加反対への対応、農地制度推進の取り組み強化、情報事業の推進等について協力、支援のお願いがありました。

また、松本専務理事からは、T P Pに関する政府の動向、食と農林業の再生議論、政府の規制制度改革の動向等の情勢報告がありました。

その後、全国農業会議所の活動状況の報告、平成23年度全国農業委員会会長代表者集会提出議案等の説明が行われました。

常任会議員会議（11月）の審議状況について

11月15日に「愛知県白壁庁舎」において、農地法等に係る愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

会議開催に先立ち、愛西市農業委員会会長・JA愛知経済連経営管理委員・JAあいち海部組合長で常任会議員であります日永熙様が第63回県条列表彰産業功勞を受けられ、川上会長がお祝いを述べられました。

また、(前)碧南市農業委員会会長禰亙田育男様も第63回県条列表彰産業功勞を受けられました。おめでとうございます。

11月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案21件(平成22年11月17件)、11,412㎡(同12,115㎡)、同法5条に基づく転用事案203件(同220件)、156,123㎡(同128,186㎡)についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

事務局長からは、10月の常任会議で決議された「T P P交渉への参加反対」を求める緊急要請の要請先等について報告をしました。

平成23年度第2回女性農業委員特別研修会を開催しました

11月29日に愛知県水産会館において、平成23年度第2回女性農業委員特別研修会を開催しました。本年5月に女性農業委員の自主的組織「あいち女性農業委員ネットワーク」が発足した中、今回は「第21回農業委員統一選挙」後、新たに就任した多数の女性農業委員を迎えて研修会を開催しました。

研修会は、福井県女性農業委員の会の上野香代子会長を講師に迎え、演題「女性農業委員の役割と福井県女性農業委員の会の活動について」講演を受けました。

質疑応答では、女性農業委員の農業委員会副会長への登用や農業委員選挙への立候補による選出の必要性について意見交換がされました。

引き続き、「あいち女性農業委員ネットワーク」の役員の選出等について協議を行い、代表に石川政子氏(安城市)、副代表に荻野紀子氏(新城市)、福井直子氏(豊橋市)、服部起代子氏(丹羽郡大口町)を選出しました。今後の女性農業委員ネットワークの活動について、関係者皆様の暖かいご支援をお願いします。

東海ブロック農地・担い手関係担当者会議が開催されました

11月4日愛知県白壁庁舎において東海4県の農業会議担当者会議が開かれました。会議開催に先立ち、全国農業会議所農地・組織対策部榊原喜久考査役から平成24年度農業委員会関係の予算及び組織対応について情勢報告がされました。また、「耕作放棄地全体調査要領の改正」、「耕作放棄地等に係る贈与税及び相続税の納税猶予制度の適用について」説明が行われました。

引き続き、協議事項にはいり、地域の農地と担い手を守り活かす運動の進捗状況、農業委員会の適正な事務実施への対応について、農地制度実施円滑化事業等農地関係対策の進捗状況と課題について、農地利用状況調査の取り組み状況と課題について、農地基本台帳の電子化状況と課題について、担い手対策の進捗状況と課題について、それぞれ各県の取り組み状況が報告され、その後質疑応答が行われました。

「農の雇用事業」の説明会が開催されました

11月10日に愛知県白壁庁舎において平成23年度第1回募集の研修生と経営者の合同の研修会が開催されました。

愛知県農業会議から「農の雇用事業」を活用した研修について、出席した19名の研修生に対し助成金交付申請書に必要な研修記録簿の記載方法等注意事項が説明されました。また、青年の新規就農を支援する「新規就農総合支援事業」の平成24年度国の概算要求内容について説明を行いました。

引き続き、農事組合法人白浜営農組合代表理事伊藤忠夫氏を講師に迎え、農業経営の心構えについて講演が行われ、その後、研修生と経営者との意見交換会が行われました。

平成23年度下期全国農業図書中日本ブロック会議が開催されました

11月29日から30日にかけて新潟市中央区の「新潟東急イン」において、全国農業会議所主催の平成23年度下期全国農業図書中日本ブロック会議が開催され、東海、近畿、北陸など13府県の事務局長など27名が参加されました。

会議では、平成23年度上期出版事業の実施状況についての説明を受けた後、協議事項として、(1)平成23年度下期刊行計画、(2)平成23年度下期普及対策、(3)次期中期目標の設定について、(4)全国農業新聞の普及推進の現状等について全国農業会議所からの説明報告の後、質疑が行われました。

その後、参加府県からアンケート調査(今年度の取扱見込額、次期中期目標の金額水準、普及活動の取り組み内容等)についての報告と意見交換が行われました。

新刊図書（全国農業会議所）

- ・ T P P 国のかたちを変えるのか(23-31) 単価 90円
- ・ 2012年 農業委員活動記録セット(23-30) 単価 500円
- ・ 平成23年度版 よくわかる農家の青色申告(23-24) 単価 700円
- ・ 平成23年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制(23-21) 単価 700円
- ・ 農業を仕事に！ 新規就農事例集(23-26) 単価 350円
- ・ 優良農地の確保・有効利用を目指して(23-29) 単価 90円

普及拡大しよう！ 全国農業新聞

全国農業新聞は、農業委員会系統組織が発行する週刊の農業専門紙です。

紙面は、「解説に力点を置いたニュース報道と企画編集」「農政・農業・農村の動きや問題」等について、特徴ある週刊新聞として農業者の視点で長年発行してきており、「農業委員会と地域の農業者・消費者との絆づくり」として、農業者の意見交換の材料として、「各種検討会や研修会等の資料・参考文献」等としても幅広く活用いただける新聞です。

また、「レディGO！ - 女性農業委員が作る女性のページ - 」を月一回、毎月4週号に掲載しており、全国の女性のみなさんの活動を応援しています。

発行は月4回、金曜日発行で、購読料は月600円（年7,200円）です。

農業委員会系統組織の活動等に対する理解・支援いただくため、農業後継者、農村の女性等、男女を問わず地域の農業に携わる方々のほか、異業種の方々にも購読者を拡大させましょう。

なお、農業委員さんが拡大した新規購読者1名につきクオカード1枚（1000円券）を贈呈するキャンペーンを実施しています。普及拡大の取り組み強化をよろしくお願ひします。

今後の主な行事予定

- 1 2月 6日 平成23年度農業者年金加入推進セミナー（東京都）
- 1 2月 7日 平成23年度全国農業委員会会長代表者集会（東京都）
- 1 2月 9日 愛知県稲作経営者会議役員会（白壁庁舎）
- 1 2月12日 農業経営の第三者継承を考えるシンポジウム（大阪府）
- 1 2月15日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 1 2月16日 愛知県農林畜産物品評会（熱田神宮会館）
- 1 2月17日 「農の雇用事業」事業説明・研修会（ウインク愛知）
- 1 2月22日 農林水産大臣表彰伝達式（農林水産部長室）